

那須平成の森の新たな挑戦！**って、どんなこと？**

地元事業者の方とのコラボプログラムの検討や、森のあり方を地域の方と意見交換の場をつくり那須平成の森はどうあるべきか…どんな課題があって、どんな役割を果たすべきなのかなど、地域を巻き込んで今後の在り方を、令和5年度～令和7年度の3年をかけて計画し実現を目指す、壮大な挑戦です！

◆令和5年度に実施したプログラム◆

『『Leave No Trace× インタープリテーション』 ワークショップ in 那須平成の森』

Leave No Trace (LNT) とは、環境へのインパクトをできるだけ少なくアウトドアを楽しむための環境倫理プログラムのことです。那須平成の森は「豊かな自然を維持しつつ、国民が自然にふれあえる場として活用してはどうか」という上皇陛下のお考えを受けて開園しました。「痕跡を残さず、未来に残す」がモットーである LNT の考え方はこの森にぴったり！ということで、栃木アウトドア事業振興会 BERGTOAD のご協力のもと、LNT のワークショップを那須平成の森で初めて行いました。

当日は、参加者同士和気藹々とした雰囲気で行われ、実践的により深い学びを得ることができました。LNT には明確な答えはなく「その場でベストな行動を考え続ける」というもの。今後も LNT のワークショップを那須平成の森で行い、LNT の考え方が日本中に広がることを目指していきたいです。(植村)



『みんなでつくろう日光国立公園～セミナー&交流会～』

那須平成の森も含まれる日光国立公園。そこにはどんな人がいて、どんな場所にしていきたいのか。そんなことを共に考えていくセミナー&交流会を、3月11日～12日に実施しました。日光国立公園内で活躍されている方々にご参加いただき、とても充実した機会になりました(延べ131人が参加)。

1日目のセミナーでは先進的な事例を講義形式で学び、パネルディスカッションも同時開催。夜には交流会が行われ、事業者ごとの活動について発表しあい、参加者同士で新たな繋がりが生まれたようでした。

2日目は各事業者による冬ならではの体験会を実施。その後5つのテーマに分かれ「分科会」を実施。最後に分科会での各意見を集結させ「これからの日光国立公園」について参加者全員で意見を深め、無事終了しました！

今回のイベントで、日光国立公園には多くの魅力や熱い想いを持つ人がたくさんいることを実感しました。このセミナー&交流会を皮切りに、日光国立公園の未来について今後も地域の方々と考えていきたいです！(植村)



◆令和6年度に実施するイベント◆

『源流の森を楽しむ日』開催！～マルシェ×アクティビティ×那須平成の森～

那珂川流域を開催場所として活動する「旅するマルシェ ナカマルシェ」が那珂川の源流部である那須平成の森で初開催。のんびりとしたマルシェが開催される中、森の中では、様々なアクティビティや那須平成の森のガイドプログラムが体験できる、まさに森を満喫する日として開催することになりました。

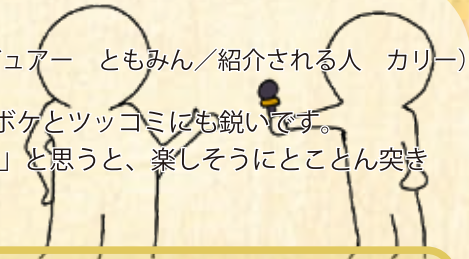
こういった大型の主催イベントは那須平成の森としては初めてのチャレンジで、地域の皆様に様々な形で自然を楽しんで頂ける日になるよう、準備を進めています！(丹野)



▲ナカマルシェ 過去の開催の様子

インタープリター他己紹介 (インタビュアー ともみん/紹介される人 カリー)

いつもニコニコ笑顔が素敵なカリーさん。関西(兵庫県)出身なので、ボケとツツコミにも鋭いです。そして、何より私がすごいと思うのは、その探求心！「これは何だろう？」と思うと、楽しそうにとことん突き詰めて考え抜いている、真摯な姿勢が魅力的です！



ガイドで大事にしていることは？

参加された方の一人ひとりの興味に寄り添ったガイドを心掛けています。

「この人は、何に興味があるんだろう？」そんなことを意識しながらお客様とガイド中にやり取りをしています。そして、ガイド内容をどんな興味とも結びつけられるように、日々、自分の知識の引き出しを増やすことを頑張っています！(でもまだまだ難しい！)



今はまっているものは？

今だけではありませんが、ずっと「異文化」に触れるのが大好き！子どもの頃、好きな野球選手がランディ・バース(阪神タイガース)でした。幼少期から海外には興味があったのかもしれない。

大人になって5年ほどメキシコやアメリカで過ごしたことがあり、今でも那須平成の森に海外のお客様が来ると心が躍ります。

ただいま、5歳の息子を育児中ですが、育児もある意味“子ども”という「異文化」との出会いで、毎日がとても楽しいです！！



インタープリターの、ガイド以外のお仕事 ～草刈り編～

前号の事務作業編に続き、今回は、私たちのフィールドである「那須平成の森の維持管理」のひとつ、草刈り作業を取り上げてみたいと思います。

■草刈りで気を付けていること

<ふれあいの森(自由散策エリア)>

散策路脇にはお花などが多く、それらまで一緒に刈ってしまうように、選択して草を刈れる場所(バリアフリー園路など)では、刈払い機ではなく、大きな鎌などを使ってお花などを残しつつ草を刈っていきます。

自然の移ろいや自然保護の観点にも留意しながら行っています。



手鎌を使って選択的に草を刈ります

<学びの森(ガイド専用エリア)>

こちらのエリアは、できるだけ自然のままの状態を維持しながら利用しています。それは、かつてこの那須平成の森で調査やご静養されていた昭和天皇の「自然のままの森がお好き」という想いを受け継いで管理をしているからです。

そのため、ふれあいの森と同じように、できるだけお花などは残しつつ、かつ散策路が隠れないよう、人ひとりが通れる道幅を確保しています。



学びの森はエリアが広いため、刈払い機も使用